



道の駅 掛合の里 イルミネーション

年頭のあいさつ



雲南市議会

議長 矢壁 正弘

入れることになり、「奥出雲おろち号」以上の観光資源となることに期待いたします。

市議会も、全議員で木次線活性化促進議員連盟を組織しており、存続に向け努力してまいる所存でございます。

雲南市議会としましては、「雲南市議会基本条例」に則り、公正性と透明性を確保し、開かれた分かりやすい議会運営を行い、市民の皆様の意見を的確に把握して市政に反映できるよう、市民参加の多様な機会を確保し、情報の提供や公開を積極的に行ってまいる所存でございます。市民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。十二支の中で辰だけが空想上の生き物であり、辰と云えば龍が天に昇っていくように、上昇し勢いを増しながらぐんぐん成長していく年になると言われています。

本年は、雲南市誕生20周年を迎え、益々発展する年となりますよう、また皆様にとりまして「健康」「飛躍」「成長」する素晴らしい1年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます。

先ず、元旦に能登半島で発生しました大規模地震によりお亡くなりになりました方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、雲南市議会に対しまして、皆様方の温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、少しずつ日常を取り戻しつつある中で、3月にはワールド・ベースボール・クラシックで「侍ジャパン」が14年ぶりに世界一を奪還し、日本中が熱狂いたし

ました。そのメンバーでもある大谷

翔平選手は、史上初の2度目の満票で最優秀選手賞を受賞し、日本国内の小学校にグローブを寄贈し、「プレー」と「贈り物」の二刀流で、全国の子どもたちに夢と希望を与えました。

また、プロ野球ドラフト会議において、三刀屋高校の高野颯太選手が東京ヤクルトスワローズから育成2位で指名を受け、プロ野球選手が誕生しました。

そして26年間運行した「奥出雲おろち号」も昨年で運行を終了しましたが、これまで県内外から多くの観光客が利用し、雲南市を代表する観光資源として貢献しました。本年4月からは山陰本線を運行している観光列車「あめつち」が木次線に乗り

令和5年度12月 補正予算可決

令和5年12月定例会は12月6日から20日までの15日間の会期で開催しました。
条例・規約11件、補正予算12件、同意1件その他が上程され、原案通り可決しました。
陳情1件については、不採択としました。

◆一般会計補正予算(第7号)

5億8,300万円減額

(補正後予算総額330億3,930万円)

●ふるさと納税推進事業 851万円

●大東高校特別支援事業 1,620万円

●道路施設整備事業 (市道元天神大別成木線路肩崩壊整備)



◆一般会計補正予算(第8号)

3億9,991万円増額

(補正後予算総額334億3,921万円)

●物価高騰対応非課税世帯等臨時給付金 2億3,596万円
(住民非課税世帯1世帯当たり7万円を追加給付)

●観光地再生・観光サービス高付加価値化支援事業



吉田町の若槻茶寮

吉田町の(仮称)桂庵

主な一般会計補正予算（第7号）

(単位：千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
ふるさと納税推進事業	寄附金の増加に伴う委託料・手数料の増	8,510	268,126	拡充
市民バス運行事業	一畑バス大東線の代替交通の計画策定にかかる委託費及び車両修繕費の増	9,567	174,341	拡充
20周年記念事業	合併20周年記念事業周知用品製作費	314	314	新規
住民基本台帳ネットワークシステム事業	住民票ふりがな記載対応システム改修費	2,011	13,380	拡充
コンビニ交付事業	コンビニ交付に係る住民票ふりがな記載対応システム改修費	1,881	9,957	拡充
雲南市飯南町事務組合負担金（清掃事業）	可燃ごみ指定袋追加作成費	7,540	610,351	拡充
社会福祉施設整備事業費補助金	看護小規模多機能型居宅介護事業所「とちのみ」の改築に対しての県補助金の増額内示による増	3,675	44,826	拡充
児童福祉施設電力等価格高騰対策支援事業	光熱費の高騰による増	3,943	10,484	拡充
児童福祉施設整備事業	加茂児童クラブホール他空調設備更新工事による増	4,400	41,402	拡充
保育所施設修繕事業	大東保育園調理室空調設備更新工事による増	3,075	35,028	拡充
最適土地利用総合対策事業補助金	山王寺本郷棚田エリアの農用地の活用計画策定に対する補助金	1,000	1,000	新規
有害鳥獣捕獲奨励事業	年間捕獲頭数見込み増による有害鳥獣捕獲報奨金の増額	4,393	59,140	拡充
観光施設修繕事業	雪害、凍結等による緊急修繕	2,000	17,271	拡充
道路施設整備事業	市道元天神大別成木線道路整備工事（新規）による増額	20,000	66,700	拡充
公共土木災害総務管理事業	市道多久和六重線地すべり調査業務委託（追加）にかかる増	83,040	105,150	拡充
大東高等学校特別支援事業	大東高校の定員削減を踏まえた特別支援策として、民間住宅を活用した寄宿舎を整備（改修）する。	16,200	16,200	新規
小学校特別支援学級設置事業	令和6年4月予定の加茂小学校及び田井小学校特別支援学級増設に伴うエアコン設置。加茂小学校ではあわせてキュービクル増設工事を実施する。	11,572	11,572	新規
小学校教師用指導書・準拠教材整備事業	小学校使用教科書の改訂に伴い、令和6年度から小学校で使用する教師用の教科書・指導書（デジタル教科書・教材を含む）を整備（購入）する。	43,191	43,191	新規

主な一般会計補正予算（第8号）

(単位：千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
物価高騰対応非課税世帯等臨時給付金	低所得世帯への支援のため、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり7万円を追加給付する。	235,965	235,965	新規
観光地再生・観光サービス高付加価値化支援事業	観光庁の「地域と一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」について、12月に採択となったことから、令和5年度採択分について島根県と協調補助を行う。	71,112	71,112	新規

議案 陳情 審議結果

条 例 等	採決結果	採決状況		
雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、子育て世帯の負担軽減を目的に産前産後の被保険者に係る保険料免除規定が創設されたことに伴い、条例を改正するもの。	可決	全会一致	雲南市大東地域交流センター条例の一部を改正する条例 ・雲南市大東地域交流センターの施設整備に伴い、条例を改正するもの。	可決 全会一致
雲南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 ・「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（マイナンバー法）」が公布され、マイナンバーを利用した事務等に係る規定の整備が行われたことに伴い、条例を改正するもの。	可決	全会一致	雲南市集落集会所条例の一部を改正する条例 ・大宝集会所の用途を廃止するため、条例を改正するもの。	可決 全会一致
			雲南市農業集落排水事業等に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ・令和6年4月から雲南市農業集落排水事業等に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、関係する条例を改正するもの。	可決 全会一致

・欠席

児玉 幸久	上代 純子	鶴原 能也	梶谷 佳平	宇都宮 晃	上代 和美	中林 孝	松林 孝之	中村 辰真	原 祐二	佐藤 隆司	周藤 正志	細田 実	藤原 信宏	白築 俊幸
○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案 陳情 審議結果

雲南市立海潮中学校の閉校に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ・雲南市立海潮中学校の閉校に伴い、関係する条例を改正するもの。	可決	全会一致
雲南市立病院職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 ・働き方改革に伴う制度改正に合わせて、労働基準法が適用される病院職員については、管理職と管理監督者の範囲の適正化を図る必要が生じたため、条例を改正するもの。	可決	全会一致
雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ・雲南市議会の議員の期末手当の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決	賛成多数
雲南市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・市長、副市長及び教育長の期末手当の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決	賛成多数
雲南市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ・雲南市職員の給与等の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決	全会一致

規 約	採決結果	採決状況
雲南広域連合規約の一部を変更する規約 ・広域的に実施する地域の振興に関する事務を行うため、雲南広域連合規約の変更をするもの。	可決	全会一致

一 般 事 件	採決結果	採決状況
公の施設の指定管理者の指定の変更 ・大宝集会所の指定管理者の指定を変更するもの。	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第7号) ・補正額 △ 583,000千円 補正後の額 33,039,300千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ・補正額 696千円 補正後の額 4,183,303千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) ・補正額 12,328千円 補正後の額 1,253,468千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市水道事業会計補正予算(第4号) 【収益的収支】 ・水道事業収益 補正額 377千円 補正後の額 1,371,979千円 ・水道事業費用 補正額 △ 721千円 補正後の額 1,289,879千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 37,000千円 補正後の額 302,453千円 ・資本的支出 補正額 37,142千円 補正後の額 835,072千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市下水道事業会計補正予算(第3号) 【収益的収支】 ・下水道事業費用 補正額 △ 328千円 補正後の額 943,807千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 430千円 補正後の額 918,832千円	可決	全会一致

令和5年度雲南市病院事業会計補正予算(第2号) 【収益的収支】 ・病院事業収益 補正額 83,485千円 補正後の額 4,952,516千円 ・病院事業費用 補正額 137,815千円 補正後の額 5,746,157千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 △ 212千円 補正後の額 481,949千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第8号) ・補正額 399,912千円 補正後の額 33,439,212千円	可決	賛成多数
令和5年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) ・補正額 1,312千円 補正後の額 4,184,615千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号) ・補正額 789千円 補正後の額 1,283,542千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市水道事業会計補正予算(第5号) 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 2,744千円 補正後の額 1,292,623千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 460千円 補正後の額 835,532千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市下水道事業会計補正予算(第4号) 【収益的収支】 ・下水道事業費用 補正額 225千円 補正後の額 944,032千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 76千円 補正後の額 918,908千円	可決	全会一致
令和5年度雲南市病院事業会計補正予算(第3号) 【収益的収支】 ・病院事業費用 補正額 46,890千円 補正後の額 5,793,047千円	可決	全会一致

同 意	採決結果	採決状況
雲南市教育委員会委員の任命につき同意を求めると	同意	全会一致

報 告
議会の委任による専決処分報告 ・法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めること及びその和解に関して、議会の議決により委任された事項について専決処分したものについて報告するもの。

陳 情	採決結果	採決状況
公共施設である庁舎内において政党機関誌の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	不採択	全会一致

令和5年12月定例会採決結果 (議案及び認定、諮問で賛否の分かれたもの) 議長は採決に加わりません 「○」・・・賛成 「●」・・・反対 「※」・・・

議 案 名	採決結果	多賀 法華	安田 栄太
雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○
雲南市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○
令和5年度雲南市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○

総務常任委員会

委員長 中村辰眞

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された9件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
 ・雲南市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

この2つの条例は人事院勧告に基づき、市議会議員の期末手当及び特別職である市長、副市長、教育長の期末手当について、支給月数を3月から

34月の0.1月増額するものです。

問 職員の給与は人事院勧告に基づいて支給することについては理解できる。この財政が厳しい中で議員や特別職の給与も上げるべきか。

答 県内他市の状況も確認したが、本市同様で、正する自治体が多いので、財政状況もあるが本市としても他市同様に上げるという判断をした。

(主な予算の審査状況)

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第7号)
 ①災害対策総務管理事業101万円は指定寄付金による災害・防災専用テ



防災備蓄品のトイレテント

ントや圧縮毛布、避難所用間仕切りなどの備蓄品購入費です。
問 購入した備蓄品は希望があれば自主組織にも配備管理されるのか、

市役所だけで管理するのか。

答 市役所で管理し避難所が開設された場合に配置していく。

②ふるさと納税推進事業851万円は、寄附金の増額に伴う委託費・手数料の増によるものです。

問 納税額が増加した要因は、新たな専用サイトを追加したことが大きいのか。

答 新たな専用サイトを使うことで寄附額が増え、ても10%の手数料がかかるので、他のサイトと大差が出るわけではない。

問 今後、どのような広がりを見込んでいるのか。

答 今後については、ルール改正もあり人件費にも制約が出てくる。中間支援事業者に委託しているが当然寄附を増やすための努力や専門的なことも取り入れながら、認知を広げ、寄附を増やすことが必要になる。

教育民生常任委員会

委員長 原 祐二

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された11件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
 この条例は、子育て世帯の負担軽減を目的に、産前産後の被保険者に係る保険料免除規程が創設されたことに伴い、条例を改正するものです。

問 保険料が免除される産前産後期間相当分(4カ月)は、施行時期である令和6年1月1日の前月分から対象か。

答 令和6年1月出産の場合、法律の施行前の出産前月(1カ月)は対象外であり、出産月(1カ月)、出産後月(2カ月)が免除の対象となる。
 ・雲南市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供

に関する条例の一部を改正する条例について
 この条例は、マイナンバーを利用した事務等に係る規定の整備が行われたことに伴い、条例を改正するものです。

問 マイナンバーの利用を可とする事務(資格取得・更新等)は、マイナンバーカードを取得しないと簡略化できないのか。

答 カードを取得しなくても適用できる。資格取得等の追加された業務では、添付書類が不要になる。

(主な予算の審査状況)

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第7号)
 ①大東高等学校特別支援事業1,620万円は、民間住宅を活用した寄宿舎の整備(改修)費です。

問 寄宿舎の規模の決定根拠は。

答 運営のコスト面を考慮し、島根県教育委員会

委員会報告



改築予定の掛合体育館

の運営費補助（1/2）の要件を満たせるような規模（10人程度）とした。

問 舎監さんや食事など管理運営の準備状況は。

答 運営については、内部で検討中であり、舎監さん、炊事員さん等は、これから探していく。

②債務負担行為（令和5年度から令和6年度）・教育施設等解体撤去事業1,100万円は、掛合体育館の解体に係る設計委託費です。

問 既存の類似施設（学校体育館）の利用状況は。

答 小中学校の体育館は、高校の使用等により、利用率が高く、社会体育施設・掛合体育館として整備が必要である。

問 高校としての体育館整備を求めるべきでは。

答 これまでの経緯や県

問 職員が市長部局から

この条例は生活排水処理事業特別会計を廃止することに伴う関係条例の整備を行うもので、併せて水道局の名称を上下水道局に変更するものです。

（議案の審査）
本委員会に付託及び委託された8件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）
・雲南市農業集落排水事業等に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

産業建設常任委員会

委員長 中林 孝

の財政事情から、県での整備は難しいとの判断により、市での新築・整備を決定した。

県への負担協議、利用者の継続使用の確保を求めました。

水道局へ異動することか。
答 市長部局である上下水道部を廃止し、地方公営企業法の適用を受ける水道局に一本化、8名が市長部局から水道局に異動する。この8名は今まで地方公務員法と地方公営企業等労働関係法の両方の立場で併任の辞令を受けていたが、今後は地方公営企業等労働関係法が適用され、地方公務員法は一部適用除外される。

（主な予算の審査状況）
・令和5年度雲南市一般会計補正予算（第7号）
災害復旧費で計上された約8,300万円の委

託料については、市道多久和六重線の調査費です。

問 内容は何か。調査はいつまでかかるか、本体工事はいつ始めるか。

答 測量・解析・設計業務に4,300万円、残土処理に2,000万円、用地調査業務に2,000万円である。ボーリングを12月中に終え、3月までに測量設計、来年度早々に地すべりの査定を受け、工事はそれ以降となる。



大規模崩壊した市道多久和六重線

助金は地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化の事業費です。

問 この事業は事前着手が認められると言っても、元旅館の改修には2件で3億円以上になる大事業だ。今年度中に事業を終えられるか。

答 7月、国に事前着手届出書を提出、それ以降が国の補助対象となる。主に資材調達費であり、令和6年2月には終わる。

問 観光客の集客にあたりモデルコースはあるか。集客は誰が行うか。

答 事業計画の中でモデルコースを設定している。集客はエージェントをお願いすることもありますが、OTA（実店舗を持たずインターネット上だけで旅行商品の取引が完結する旅行会社）を使い、都会地にも情報発信していく。

・令和5年度雲南市一般会計補正予算（第8号）
観光振興費で計上された約7,100万円の補



質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

一般質問

アンガーマネジメントの推進を



藤原 信宏



問 アンガーマネジメントは、怒りをコントロールする力を身に付けることを目的とした心理トレーニングで、誰でも気軽に取り組むことができ、教育分野においては、いじめや問題行動の防止、指導力の向上や体罰・虐待の防止に寄与すると期待される。学校教育における技法訓練の意義と有効性、その推進について所見を伺う。また、アンガーマネジメントを通じた非認知能力（生きる力）の育成について、重要性と取り組みの所見を問う。

答 学校教育でマネジメントの指導を行うことは有効で意義あることだ。非認知能力を伸ばすこと

は極めて重要で、幼児教育から取り組んでいる。**問** 職場においても良好な対人関係や生産性向上などの効果が期待できる。職員研修や市民講座などに有効活用できないか。

答 市職員においては、このテーマを取り上げた研修会も開催している。市民に対して、今年も鍋山で専門講師による研修会を予定している。今後も取り組んでいくことが必要と考えている。

生活環境重要課題の抜本的改革を



松林 孝之



問 有害鳥獣被害は、もはや災害とも言える状況である。防護策の補助はあるが被害後の農地修復支援策が必要ではないか。

答 復旧支援策は中山間

地等直接支払制度があり、地域内での合意で復旧にあてることが可能だが、奥部では協定が結べない地域もある。**問** 市道、県道の法面、及び隣接する河川法面の草刈り等において、自治会補助はあるが高齢化と共に人員不足により負担が増しているが対策は。

答 本年度、道路河川愛護作業交付金制度と集落間除草作業制度の拡充を行った。ただ、今後の人口減少等への対応として制度作りが必要と考える。**問** 人口減少高齢化が進み、自治会への補助金があっても実働できない状況は今後更に顕著となり、負担と不安が増えるばかりである。生活環境重要課題として抜本的な制度改革を国、県に求めるべきではないか。

答 全国的な課題であり、地方の状況や現場の実態を県や国に伝え、先端技術の開発や財源措置等への対応を求めている。

どうする大東高校の寮の食事は



鶴原 能也



問 空き家を活用して整備される大東高校の寮について、保護者にとって一番心配な食事の提供をどのように考えているか。

答 今回整備する寮での食事提供を考えている。**問** 令和6年4月に供用開始するための舎監さん、炊事員さんなどを短期間で確保できるのか。

答 各種ハウスマスター、炊事員さんなどの確保については現在、地域の皆様方と相談し内容を整理している。**問** 令和4年度の不登校の児童生徒数が更に増加したが要因をどのように分析しているか。

答 生活の乱れや無気



整備される大東高校寄宿舎

力、不安などに起因するものが多く、一人一人の状況把握が重要と考えている。**問** 今年収穫された特別栽培米「プレミアムつや姫たたら焰米ほむらまい」のうち、Pランクに認定された米が一袋もなかったが市長の見解を伺う。

答 ブランド米という形で米の価格の維持、向上は雲南市にとって大変に重要なことと思っております。取り組む農家さんをしっかり支える施策を進めていく。



一般質問

鳥獣被害
対策事業



梶谷 佳平



問 鳥獣被害に遭った農地等の復旧支援は。

答 復旧支援は無い。防護柵等を設置しても被害がある場合は、専門員が現地で設置指導を逐次行う。

問 有害鳥獣緩衝帯の整備費用補助創設は。

答 中山間地域直接支払補助金の中で対応してほしい。

問 児童のクマ対策にスクールバス通学は。

答 スクールバスが利用可能な児童は遠距離通学児童のみ。今年はクマが多く出没しており、保護者の要望で12月まで市民バスの利用を特別に許可した。自宅までの送迎は、バスの路線変更が必要であり難しい。

問 健全財政維持のための事業財源と実質公債費比率については。

答 事業財源は極力有利なものを活用し、国に対し地方交付税制度等の改正要望を行うと同時にふるさと納税の確保が必要。実質公債費比率は15%程度を目安に事業の効果や必要性を見極めた執行が必要。

ラメールの修繕費は
20億円程度



佐藤 隆司



問 令和6年度からの加茂文化ホールラメールの大規模修繕はどのような計画で進められるのか。

答 ラメールの大規模修繕は、今年度設計業務、改修工事は来年度から3か年計画で実施をする予定。改修工事は外壁・屋



大規模修繕が必要な加茂文化ホール ラメール

根工事、空調改修、舞台設備改修の3つに分け実施する。

問 現在計画されているラメールの大規模修繕の概算の予算は。

答 ラメールの修繕費は、20億円程度を見込んでいるが確定はしていない。
問 約20億円の工事発注は入札の技術要件で地元業者が参加できるのか。

答 業者選定は今後、市の内部でどういう選定の仕方をするか決めていく。

問 ラメールの30年前の建設費は21億5,000万円だが、燃油高騰が続く中、公共事業費も高騰しているが修繕費の概算予算は増えるのか。

答 昨今の資材価格の高騰、労務費単価の引上げなど想定してない事情により、事業費の変動というのの当然に起こり得ると考えている。

一畑バス
大東線存続を



細田 実



問 令和6年9月から一畑バス大東線を廃止したいとの会社の意向が伝えられた。廃止となれば雲南市民の安全・安心、定住促進に大きな問題だ。

また、県都松江市、宍道湖中海圏との連携にとつて大きなダメージだ。今日までこの路線の重要性から赤字補填を行い路線を維持してきた。市長の見解は。

答 運転手不足からの廃止申し入れである。大変重要な路線であり、存続に向けて松江市や鳥根県とも連携し一畑バスと交渉をしていく。また、改善の策として代替手段の確保に向け利用者、地域住民のご意見を伺い検討を進めていく。

問 獣被害は農家の生産意欲を失わせている。農業振興の大きな課題だ。獣被害の専門チームを市役所に作り、対策でなく、農業、林業、里山、生態系などまちづくりの視点で政策を講じるべきだ。

答 鳥獣被害対策実施隊を編成し、加えて、鳥獣対策コーディネーターを採用、県の鳥獣対策専門員とも一緒に連携を図り取り組んでいる。



一般質問

防災公園を見直す
考えはないか



中林 孝



問 4か所の道の駅を活性化するために必要な予算額、期間を伺う。

答 数億円から十数億円を見込む、整備期間を明確に示すのは困難だ。

問 数億から十数億円とは幅がありすぎる、期間も分からないでは議会で議論も判断もできない。さくらの里きすきの駐車場整備に当たっては、最小限の投資で十分ではないか。有利な財源の目途がたつたとは言え、市債で賄わなければならない。ビジョンで示されたさくらの里きすきの整備費は3億円だ。駐車場の拡張を防災公園に替えて整備すると段差の解消や遊具の設置が必要、昨今の物価高を考慮すれば6億円

程度にもなる試算だ。単純計算で1世帯当たり約1万6千円の負担となる。市民の理解が得られるか、自主組織や地元自治会の了解も得たか、見直しの考えはないか。

答 委員会で数回、状況報告をした。HPでも公開している。既存施設の改修なので関係者と議会への説明に留めた。今後もしつかりと説明、議論しながら進める。

学校トイレに
生理用品配備を



上代 和美



問 「生理の貧困」がクローズアップされ、学校トイレに生理用品を配備する自治体が増えている。子供たちの実態を知るため、市内中学校（大東中除く）の女子生徒を対象

にアンケートを実施した。「学校トイレに」生理用品がなくて困った」という回答が約8割あり、自由記載では「買えなかった」「金銭的にも助かる部分が多い」といった気になる回答もあった。

子供たちにとって学校を安心できる環境に整えることは大人の責任であり、自治体を取り組むべき施策だ。見解を伺う。

答 今年度、改めて学校現場に調査を行い、以前の結果と比べると、明らかに学校現場の意識が生理用品の配備にシフトしたと考える。今後、校長、養護教諭と検討していく。

問 11月27日「学校給食費無償化」署名1、165筆を市長に提出した。この声の重みを受け止め、市として学校給食費無償化を決断すべきだ。

答 実現には、1億5,000万円余の一般財源



ある日の学校給食

が必要で難しい。国に財源保障するよう要望していく。

アフターコロナでの
経済回復は



安田 栄太



問 令和3年9月の一般質問で、コロナ禍でのアフターコロナを見据えた経済回復の道筋を伺った。コロナ禍ではICT導入

による販売力の強化を支援し、コロナ収束後には積極的な消費喚起、観光客誘致を行っていくとされた。狙い通りにできたのか。

答 雲南市デジタル化推進事業でホームページの作成や、インターネット通販に対応する事業者が増え、SNSを活用した情報発信も活発化し、販売力の強化につながっている。消費喚起については、新型コロナが5類に移行してから全体的な消費は回復傾向にあるものの、物価上昇や人手不足などの影響で、今後の消費喚起対策のあり方を、県の対策も見ながら検討する必要がある。観光については、観光協会と連携して台湾からのインバウンドの受け入れや、たたら製鉄の見学、農業体験ツアー等の造成を進めている。また、友好関係にある台湾彰化県二林鎮との交流を観光に波及させたい。



一般質問

切れ目ない
支援の充実を



多賀 法華



問 障がい児の保護者の方への情報提供が不十分との声を聞いた。保健師同士の情報共有はどのようになっているか。

答 地区担当保健師が、家庭訪問等で出た課題の情報共有をしている。部局をこえた保健関係者定例会を月1回している。研修会、勉強会もある。情報が届かず、対応が不足していると感じられないよう努める。

問 切れ目のない一貫した支援の取り組みは。

答 相談支援専門員の業務が、学校で十分知られていない点がある。相談支援専門員と学校の連携強化の取り組みを進める。サポートファイルの

答 雲南子育てサポートファイルはあるが、乳幼児期の記録が中心。成人期まで通じたものではない。他県での事例等を調査・研究し、検討する。

問 親の会と保護者さんをつなぐ必要は。

答 障がい児の保護者の方が孤立や孤独で悩まないよう対応していく必要がある。市が把握する親の会の情報提供や、つなぎ役は可能と考える。

管理不全空き家
対策を問う



原 祐二



問 空き家対策特別措置法の改正により、特定空き家になる前からの管理保全のため新設された、管理不全空き家の実態と

税制を含む制度運用を問う。

答 市内には、該当する空き家が数件あると見込んでいる。管理不全空き家は、特定空き家への該当を未然に防止するため、法に基づく指導・勧告・措置が可能となった。勧告を受けた建物の敷地は、住宅用地の固定資産税課税標準特例の適用から除外される。

問 掛合体育館の解体・新築の方向が示され、解体に係る予算が提出された。新築へのスケジュール・規模等について、市民・利用者、議会との合意形成を問う。

答 新築へのスケジュール・規模・場所等は、検討中である。地域自主組織・連絡協議会には、これまでの経過は説明している。議会へは、常任委員会ですべての事項を説明する。

問 指定管理料の変更・市の直接負担についての見解を問う。

答 過度な負担については、基本協定書により都度、協議により定める。

ライドシェアの
導入を考えるべき



上代 純子



問 深刻化するタクシードライバー不足を解消するためのライドシェアの導入は、住民の移動手段が確保でき、買い物難民や夜間移動といった交通問題の解消が期待でき、また経済効果も見込まれる。制度の導入についての市の見解は。

答 国における議論を注視し、雲南市で活用するといった視点でしっかりと議論を進めていきたい。

問 体験型のふるさと納税として、地元

の保育園を活用した保育園留学制度が人気だ。豊かな自然の中で子育てができ、地域や保育園の応援に繋がりに、関係人口の増加に期待できる

と思うが返礼品に取り入れる考えは。

答 保育園の活性化や関係人口の増加が見込まれ、地域の良さを発信し移住定住のきっかけとなること期待される。公立保育施設での制度運用ができないか検討を進める。

問 ジビエの普及促進は、販売による経済循環や埋設等の手間の軽減など波及効果は大きい。処理加工施設等の課題の解決を進め、商品開発や販路拡大を行っていく。



市内産のジビエ商品



一般質問

デフリンピックを
機に手話言語条例を



中村 辰眞



問 デフリンピック東京大会に向け、全国的に手話普及の機運が醸成しつつある。東京大会を目指し世界レベルの実力を持つ本市出身のアスリートがいる。本市もこれを機に、手話言語条例を制定することが手話に対する理解を深めることになるかと考えるが見解を伺う。

答 デフリンピックは全国的に手話普及の機運を醸成する良い機会と感じている。全国でも年々、手話言語やコミュニケーションに関し、条例化する自治体が増えている状況を踏まえ、本市としても検討すべき時期に来ているのではないかと



大東図書館の上代タノさんコーナー

と感じている。当事者や関係者等に意見を伺いながら、他自治体も参考に検討を進めたい。

問 来年、雲南市は合併20年の佳節を迎える。上代タノ先生を女性で初めての名誉市民として顕彰すべきと考えが見解を伺う。

答 上代タノ先生の功績は高く評価されている。名誉市民として広く広めるべきとの声もある。多くの方々の議論の中で判断したい。

市民・民間の
理解は得られるか



周藤 正志



問 市立病院の給与制度の見直しを4月から適用するのであれば、遅くとも2月の委員会で説明し、3月定例会へ条例改正議案を上程すべきだが、なぜしなかったのか。条例に基づかない執行は、極めて問題だ。

答 条例改正の必要を認識しておらず、後追いの形になった。

問 一般的に管理職手当と時間外手当の両方を併給するというのは考えられない。市立病院は公務職場であるから、市民からおかしい、あるいは行き過ぎだと思われるような給与制度であってはならない。給与制度には、均衡の原則があり、国、他の自治体、民間の事情

を考慮しなければならぬ。今回の見直しは、市民や民間から理解が得られるのか。

答 理解は得られる。

問 これまでの手順や事務処理は不適切で、お手盛りの批判は免れない。管理監督者へは管理職手当を、それ以外には時間外手当を支給するよう是正すべきだ。

答 この見直し案にご理解いただきたい。

議会を傍聴してみませんか？

12月定例会は、延べ30人の傍聴がありました。

当日、議場入口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

傍聴について詳しくは、
雲南市議会事務局
電話(0854)40-1004
までお問合せください。



12月定例会の様子

議会運営委員会

愛媛県 四国中央市・東温市
オンライン会議とペーパーレス化について

10月12日と13日に、愛媛県四国中央市議会と東温市議会のオンライン会議とペーパーレス化について視察研修しました。



四国中央市議会での研修の様子

両市議会ともオンライン会議用アプリはZOOM、会議資料閲覧アプリはサイドブックスを導入されています。

四国中央市は議会改革推進特別委員会を設置し、平成30年からタブレットを導入して、議会運営の効率化を図ることを目的にオンライン会議、ペーパーレス化の取り組みを始めています。市役所外のインターネット接続は5Gモバイル、庁舎内はWiFiで接続することから、エラーはほとんど無いとのことでした。

なお、オンラインでの委員会開催要件は感染症と災害発生時のみとされています。

委員会資料、予算決算資料も全てペーパーレスとし9月定例会資料分だけでも約60万円のコスト削減に繋がったとのことでした。

東温市議会は、議場はオンライン会議に対応していないが、委員会室、会議室はWiFiアクセスポイントを設置し通信環境を整えられています。環境を確保されています。

会議室のマイクシステムは新規導入ですがモニター・カメラ・PCは既存のものを活用されています。(財源：コロナ交付金)

オンライン会議は、令和4年3月に東温市議会委員会条例及び東温市議会会議規則を改正し、感染症、災害及び育児・介護の際も可とされています。

ペーパーレス化は来年度の改選期までは紙と併用し、6月定例会から完全ペーパーレスを目指すとされています。

【視察のまとめ】

- ①オンライン会議とペーパーレス化は並行して行う必要があるが、ペーパーレスを先行すべき。(事務局、執行部とも)
- ②予算決算、委員会資料

議会広報広聴特別委員会

兵庫県丹波市 議会広報誌の編集について
兵庫県宍粟市 議会の広報広聴活動及び
議会広報モニター制度について

等、全てのデータをアップするためには、サイドブックスの容量増とサーバー保存期間の再考が必要。

③期限をきめ完全ペーパーレスを実現し、コスト削減、CO₂削減とともにオンライン会議を可能と

することです緊急時、災害時にも議会機能が停止しないようにする。

④実行するための根拠規定の整理が必要。

以上がこの研修で得たことで「先ずペーパーレスに着手することが重要」と学びました。

10月17日と18日に、兵庫県内2か所の視察を行いました。

丹波市議会では、議会広報誌の名称を「たんばりんぐ」と名付け、合併した6町が和やかに輪になり、タンバリングのように賑やかに議論して丹波市を創造していく市民の様子を表されています。

議会だよりは堅苦しいという、これまでのイメージから脱却するため、ア

ンケートや高校生を対象とした「読者モニター会議」を通じて、リニューアルされています。文字数を減らし、文字を大きくし読みやすくするなど、他、親しみやすい紙面づくりのため「ターゲットは高校生から子育て世代まで」「5分でキャッチできる議会だより」「読者目線を忘れない」などにも心掛けられています。コンビニエンス



丹波市議会での研修の様子

トアや高校など幅広く配布されています。六粟市議会では、広報広聴に関することは、常任委員会として対応されています。市民と議会が様々な行政課題についての情報や意見交換を行い、その結果を議会としての政策立案や提言に繋げるために「お出かけ市議会」を開催され、あらかじめ決定または、提出されたテーマに基づき実施されています。また、議会だよりは市民からの意見を参考に、より充実し

たものにするための「広報モニター」を設けられています。

両市議会の「広報モニター」は雲南市にはない取り組みで大変興味深い制度であると感じました。



六粟市議会での研修の様子

島根原子力発電対策特別委員会

福井県おおい町 大飯発電所における

安全対策について

福井県美浜町 緊急事態支援センターについて

京都府舞鶴市 住民避難計画について

10月31日と11月1日に、福井県および京都府での視察を行いました。

福井県おおい町では、

関西電力大飯発電所における廃炉作業、新規制基準に基づいた各種安全対策の取り組みを現地視察しました。また、定期検査中の4号機においては、使用済み核燃料ピットの見学も行うことができました。現在の貯蔵量が容量の8割に達している状

況であり、島根原子力発電所同様、使用済み核燃料の搬出・譲り渡しが大きな課題となっていて、青森県六ヶ所村の再処理工場の早期運用開始、中間貯蔵施設の確保に加え、最終処分場の問題についても解決していかなくてはならないことを改めて認識させられました。

福井県美浜町では、福島第一原子力発電所の事故対応の教訓を踏まえて

設置された美浜原子力緊急事態支援センターの視察を行いました。同センターは、高放射線下の現場における被ばくを可能な限り低減するため、遠隔操作可能な無線重機やロボット等を保有しています。また、事業者及び支援組織要員の教育・訓練が行われています。同センターが出勤することが決して無いことを願いますが、万が一の事態に備えた事前の準備も重要であると感じました。

京都府舞鶴市では、

原子力災害住民避難計画、避難訓練の取り組み等について説明を受けました。

舞鶴市は、大飯発電所のUPZ（緊急時防護措置を準備する区域・半径30kmまでの範囲）に市域の約半分が、また、高浜発電所のUPZに市域の殆どが、一部の区域はPAZ（予防的防護措置を準備す

る区域・半径5kmの範囲）に含まれており、雲南市とは置かれている状況が若干異なるものの、基本的な避難の流れは同じでした。しかし避難先は、放射性物質の拡散方向に応じた避難に対応するため、南方面と西方面の2方向が設定されました。避難計画の実効性の向上に向けては、若者世代への周知や、デジタル活用による避難の円滑化等も課題であるとのことでした。



無人ロボットの説明を受ける様子



議会と語るついで

開かれた市議会をめぐり「議会と語るついで」を11月2日から15日にかけて開催しました。

市内5会場で85名の参加があり、多くのご意見をいただきました。その一部を会場別に紹介します。

(大東会場)

● 空き家対策を国とは別に雲南市としてどうするのか、先進的に取り組んで欲しい。

● 雲南市は県内で一番健康寿命が長い。健康寿命をのぼすために健康診断を推奨することを市と社会福祉協議会でタイアップ

プして取り組んでいただきたい。

● 久野地区は高齢化が進み、独居老人が多い。今年からだんだんタクシーを利用して、福祉推進員等と一緒に買い物に行ったり、簡単な補修やゴミ出し等を手伝ってくれる方を登録し、高齢者の安全な生活のための事業を始めている。

● 雲南市は障がい者の入所施設と、ショートステイが少ない。また、障がい児の保護者の会などの情報提供が少ない。今後のためにも検討してもらいたい。

(加茂会場)

● 工業用水道の建物を買って書庫にしなくても、市役所の旧庁舎を解体せずに書庫として使ってはどうか。

● マイナンバーカードの機能として、市営バスや交流センターのサロンを利用したり、高齢者が運動すればポイントがつい

て、商工業者の所で使えるなどの雲南市独自の活用を考えてはどうか。

● 加茂は非常に雨に弱い。内水排除はポンプに頼っている。ポンプの能力を超える雨量の時に連坦地は確実に浸かる。この人数が非難するには加茂小学校の体育館しかないが、トイレの問題で避難所として機能しない。市に要望したい。

(木次会場)

● 自治会運営に苦慮している。人口減少していく中で自治会の体力がなくなつて担い手もない状況で見通しが立たない。積極的にスリム化する必要がある。

● 日登地区の大型圃場整備を要望してあるが、どの程度進んでいるか。

● 相続放棄され、放置された空き家について、仮に所有者が分かった場合は、解体などの話があると思うが、市はどの程度介入するのか。過去に市

の負担で解体した例はあるのか。

(三刀屋会場)

● 風力発電の件で、雲南市の状況はどうなっているのか。健康被害や森林破壊もあると聞く。真剣に考えていただきたい。

● 自宅周辺の有害鳥獣被害が多く、対策に力を入れて欲しい。罾の資格を持つ人が少ないので、市から資格を持った人を派遣して欲しい。

● 通学路にクマが出没した。保護者が不安になり教育委員会等と相談し、市民バス利用の特別許可の申請をするようになっていく。

● 各地域において廃校になった学校をどう活用しているか分からないと言っておられる。旧飯石小学校はドローン等の利用があり管理が必要だ。校庭等の規模が大きい中で他の小学校と同じ管理費になっている。地元、市、ドローン協会とも協

議をして管理について地元負担が少なくなるようにして欲しい。

(掛合会場)

● 国から給付金を支給してもほぼ貯蓄に回るし、使われてもコンビニやホームセンターに流れているので、地元の税収に回らない。少しでも地域内で循環するように取り組む必要があるのではないか。

● 大規模事業等基金積立金は、もともと広域観光に活用されていた。掛合には滝100選が2か所あるが修繕されていないところがある。観光資源にもっと使って欲しい。大田市の観光地でも修繕がされてなく事故があった。龍頭が滝も直されていないので、そういうものに活用して欲しい。

● 市道の木や草刈りなど住民も高齢化してできない。雪が降ると木が倒れるので伐採してほしい。



木次線 シンポジウム

雲南市議会木次線活性化促進議員連盟 会長 中林 孝

雲南市議会木次線活性化促進議員連盟は奥出雲町議会と共催で10月29日、

「木次線は誰のもの」という

タイトルでシンポジウムを開催しました。会場となったラメール

には市内外から多くの参加者を得て熱心な討議をしていただきました。

パネラーは島根大学法文学部教授の飯野公央氏、大手出版社の人物編集長でチェリバホールに展示してある出雲坂根駅のスイッチバックのジオラマを作成された江上英樹氏、ルートが木次町八日市にあり現在は鉄道ライターとして活躍中の土屋武之氏の3氏です。それぞれの立場で発表していただきました。

飯野氏から「大手私鉄の近鉄は売上の半分以上を本業以外で上げている、JR西日本も努力が必要。また、国の予算は道路に比べ鉄道への配分が極端に少ない」といった指摘、江上氏からは「木次線がなかったら僕はここにいない、スイッチバックは当地の資産であり世界中から人呼び込みたい」という提案、土屋氏からは「鉄道が沿線にもたらしている価値や利益を考えよう、価値や利益がある所に人が集まる」との発言がありました。一方、来場者の方からも多数の意見をいただきました。

市内在住の方からは「木次線の存在意義を明確にして住民の意識共有を図って

いくことが大事、それができていないことが問題だ」といった指摘や、他県出身の島大生は「自分が高校生の時、市が定期券購入代金を補助したところ通学手段が保護者によるマイカー送迎から公共交通にシフトした。保護者は送迎の負担が減って仕事や他のことに回す時間が増え公共交通の大切さがわかった」などの体験談の披露や「今までにない企画で参考になった」「木次線は自分とは関係ないと思っていたが真剣に考えなければならぬ」との意見もいただきました。

2時間余りの限られた時間でしたが、様々な角度から木次線について掘り下げることができました。参加者からいただいた指摘や意見を今後の議会活動に活かして参ります。



編集後記

体育館更新を憂えている中、「ラメール改修20億円！」に驚愕。今は、遂に来たかとの思いです。

健全財政の確立に向けて、大きな鍵を握る公共施設等総合管理計画。保有量と配置、維持管理の適正化基本方針を定め、財政規模に見合った計画的な施設の管理運用を目指して、処分、集約・複合化、更新を進めるのではなかったか。そうした議論は微塵もなく、大規模文化施設が合併前の保有量の全面維持が前提ではないか。計画の基本は縮減であり、これでは財政運営が不可能です。

施設の統廃合は合意形成に困難を伴いますが、危機感を共有しギリギリの議論を経て、信念を持って確実に実施しなければなりません。議会も実効性の高い適正化方針に向けて議論が必要です。新しい年が昇龍の如く勢運の年となりますように。

請願・陳情の提出について

3月定例会の請願・陳情は2月27日(火)17時までに、議会事務局へ直接提出して下さい。

上記の受付期間を過ぎた請願・陳情は、6月定例会での審査となります。

議会広報広聴 特別委員会

委員長	安田 栄太
副委員長	上代 純子
委員	児玉 幸久
	鶴原 能也
	梶谷 佳平
	宇都宮 晃
	藤原 信宏
	白築 俊幸

雲南市議会事務局

電話：(0854) 40-1004 FAX：(0854) 40-1009 MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp